

【12】自然環境に配慮した農業用水施設の見学会

取り組み内容

- 1, 背景：自然環境と共生した農業・農村を目指すため、環境との調和に配慮した農業用施設の整備を進めています。
- 2, ねらい：地域の方々に、農業用施設等に親しみ持ってもらおうと共に、農業用水と森林の水源涵養機能、魚類の回遊のための水利施設等、自然環境に配慮した農業用水施設の造成・管理について理解を深めてもらうことを目的としています。
- 3, 取り組み内容：ダム、頭首工等の土地改良施設の見学会を実施しています。
- 4, 取り組みにおける各者の役割
旭川開発建設部：事業主体として造成施設の説明
てしおがわ土地改良区：管理団体として水源地の保全、施設の維持管理について説明
- 5, 実施時期：平成20年7月9日・23日（高等学校）、8月1日（一般市民）
- 6, 実施場所：国営造成土地改良施設（ダム、頭首工）
- 7, 協働主体：てしおがわ土地改良区、名寄農業高等学校、剣淵高等学校、市民、旭川開発建設部（名寄農業開発事業所）、上川支庁（北部耕地出張所）



農業用水水源地域を学習する高校生



魚道を視察する市民



頭首工に造成した魚道工